

天窓Vision 品番：NTN281

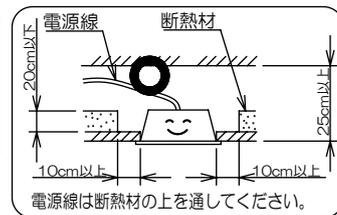
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のため必ずお客様にお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実にを行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 傾斜天井に取り付ける際には専用金具：NTN280HKを使用し、取付角度は、水平面に対し最大30度とする。
地震による落下や、天井の損傷の原因となります。
- 漏えい電流が大きい機器です。電源を接続する前に接地接続をしてください。
電源を先に接続すると、感電の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用する、感電・火災の原因となります。
- 取付ボルトは器具の質量（23.4kg）に十分耐えるように補強を行う。
強度が不十分な場合、落下の原因となります。
- 断熱材・防音材をかぶせて使用しない。火災の原因となります。



注意

- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや耐用年限が短くなる原因となります。
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。
(一部の食品や薬品、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。)
光学性能に影響を与える場合があります。
- 器具の取付け、取外しは手袋などの保護具を使用する。けがの恐れがあります。

施工上のご注意

- ・ 光源部（LEDユニット部）には直接触れず、取っ手、取付枠をもって取扱ってください。
LEDユニットの故障・LEDの光束維持時間が短くなる原因となります。
- ・ コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行ってください。
LEDユニットの故障・LEDの光束維持時間が短くなる原因となります。
- ・ 器具の外部にブレーカ（配線用遮断器）を設けてください。
- ・ スイッチは、必ず非接地側（電圧側）にお取り付けください。
(接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。)
- ・ 器具単体では使用できません。必ず適合した映像再生装置と組み合わせてご使用ください。

各部のなまえと取付方法

警告

- LEDユニットの取付け・取外しの際は必ず電源を切る。
- 施工は、施工説明書にしたがい確実にを行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

1. 取付前の確認

- ・器具質量（23.4kg）に十分に耐えるよう、ボルト取付部の強度を確保する。必要に応じて振れ止め施工を行ってください。
 - ・取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する。
 - ・ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
 - ・器具の取付方向（向きラベル（●）を確認）、配置（複数器具の場合）を設備図等で確認しておく。不明の場合は発注元にお問い合わせください。
 - ・映像再生装置（別途）の設置をする。
 - ・反射板ユニット、枠の保護テープをはがす。
- ※不備があると器具落下の原因となります。

2. 埋込穴の開口

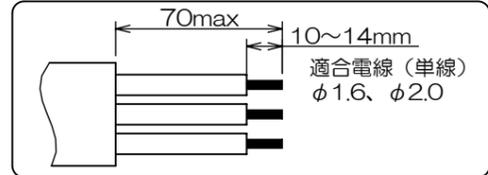
- ・埋込穴、取付ボルトを図のように用意しておく。

3. 本体の取付

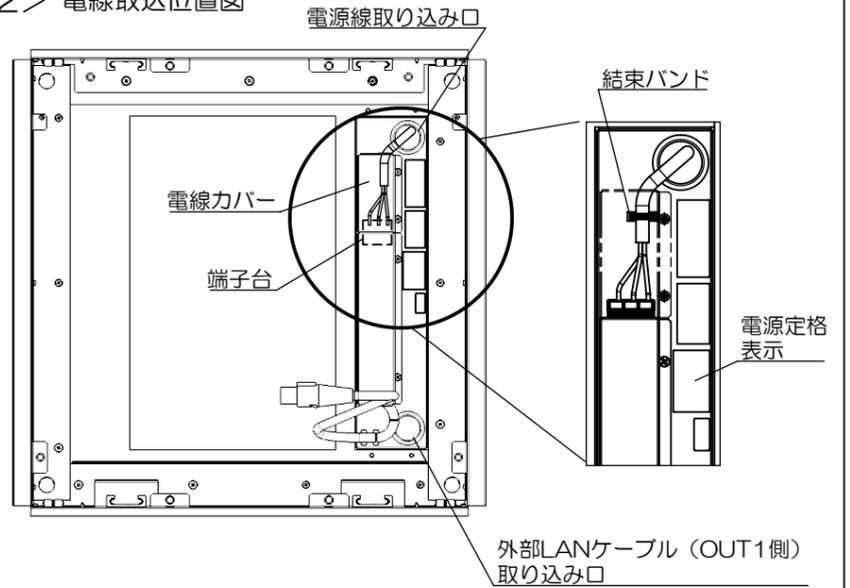
- ・本体から枠、反射板ユニットを取り外す。反射板ユニットには傷つきやすいまたは変形しやすい箇所があります。手持ち可能箇所のみを持って取り扱う。（＜図3＞反射板ユニット手持ち可能参照）
 - ・取付ボルトの天井面から205mm位の位置に当りナットを取り付ける。平座金（付属）をボルトまたはナットにテープ等で仮止めする。
 - ・電源線・アース線・外部LANケーブルを本体の開口部（＜図2＞電線取込位置図参照）から引込んでおく。
 - ・取付方向（向きラベル（●）を確認）、配置（複数器具の場合）に注意して本体を取付ボルトに確実に取付ける。（推奨トルク：12N・m）
 - ・器具内線を座金やナットで挟み込んでいないか確認する。
- ※不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

4. 電源線・アース線の接続

- ・電線カバーを取り外す。（＜図2＞電線取込位置図参照）
- ・電源線、アース線を端子台に確実に差し込む。
- ・D種（第3種）接地工事が必要。
- ・端子台の送り配線は合計20Aまでです。
- ・付属の結束バンドで電源線、アース線を固定する。（＜図2＞参照）
- ・電源線、アース線をはさまないように電源カバーを取り付ける。



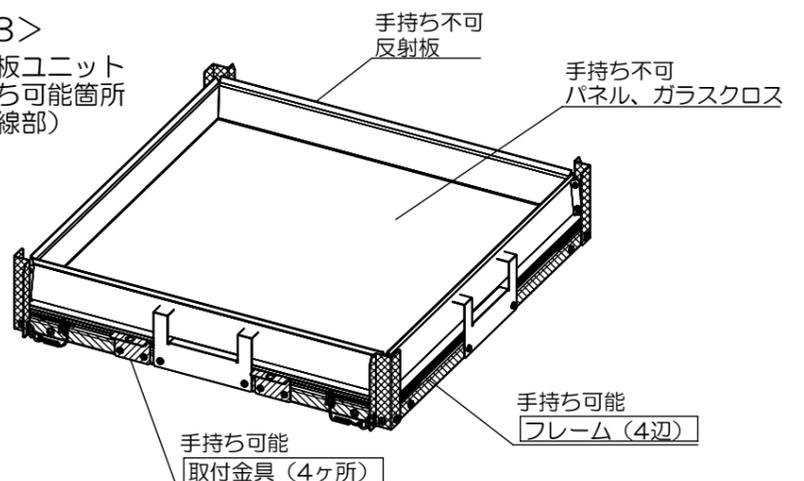
＜図2＞ 電線取込位置図



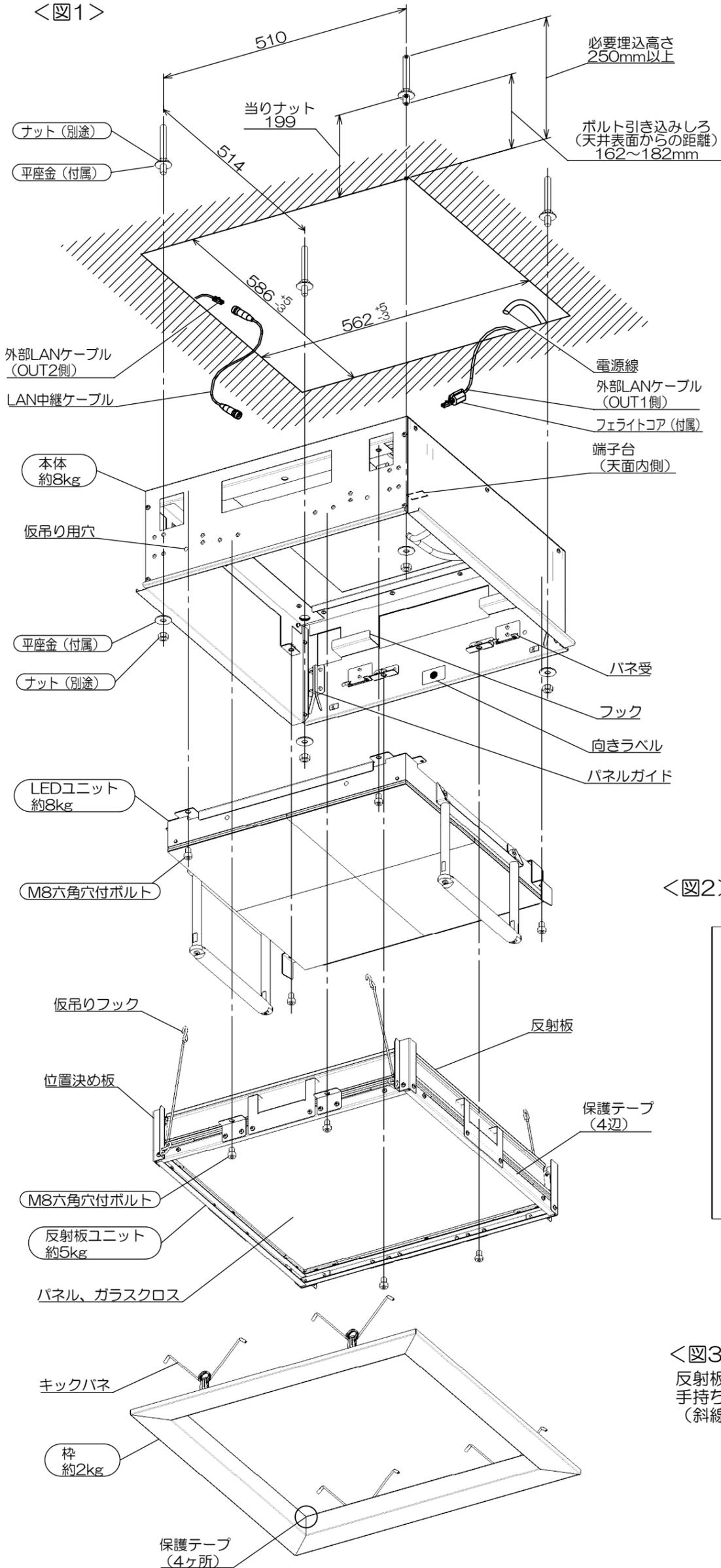
※外部LANケーブル (OUT2側) は開口部を通す。（＜図7＞＜図7-2＞＜図7-3＞参照）

＜図3＞

反射板ユニット
手持ち可能箇所
(斜線部)

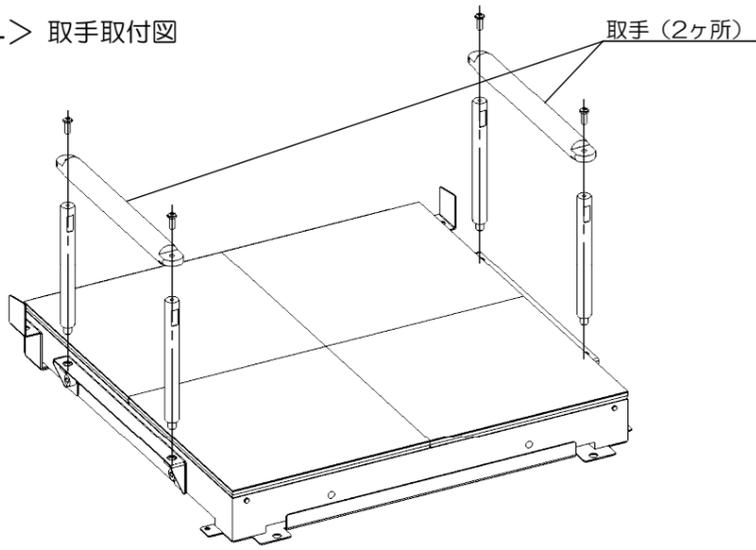


＜図1＞



各部のなまえと取付方法

<図4> 取手取付図



警告

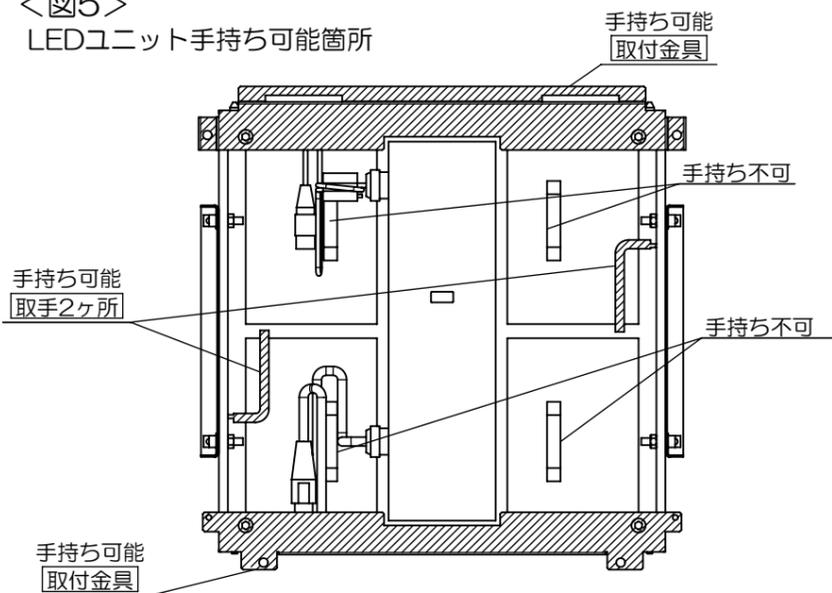
- LEDユニットの取付け・取外しの際は必ず電源を切る。
- 施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

5. LEDユニットの取付 (1)

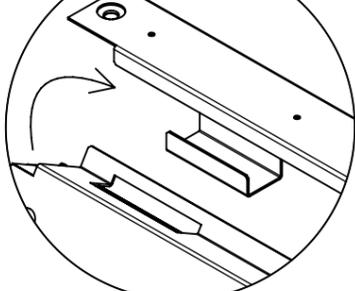
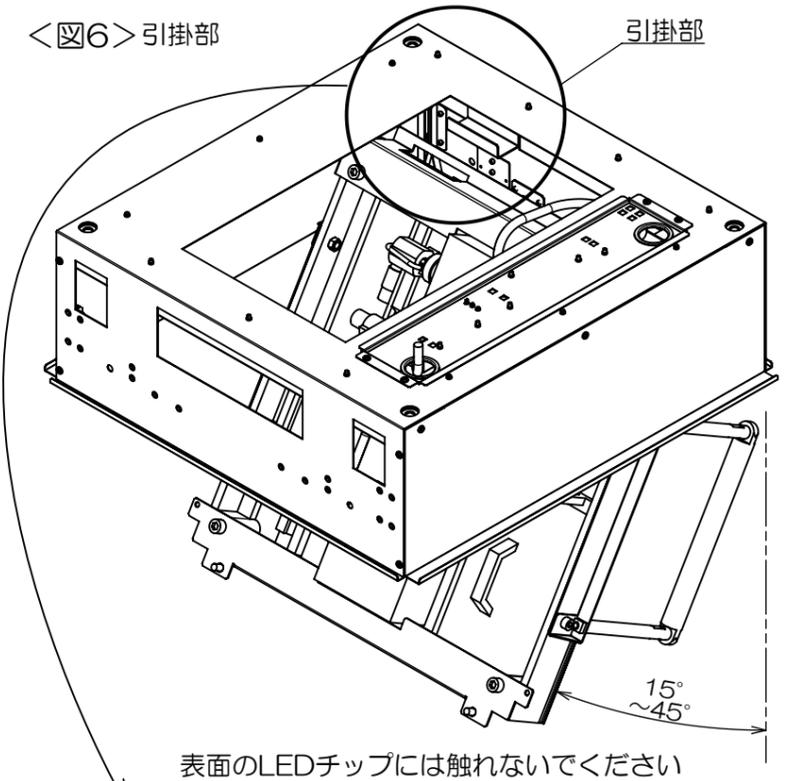
- ・LEDユニットに取手 (2ヶ所) を取付ける。
(<図4> 取手取付図参照)
- ・向きに注意してLEDユニットを本体のフックに引掛ける。
(<図6> 引掛部、<図7> LEDユニット取付図参照)
- ・LEDの持ち可能箇所は<図5>参照

<図5>

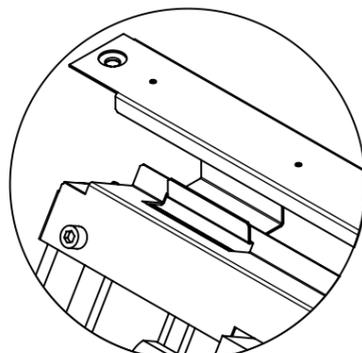
LEDユニット持ち可能箇所



<図6> 引掛部



<図6-1> 引掛部拡大図 (引掛前)

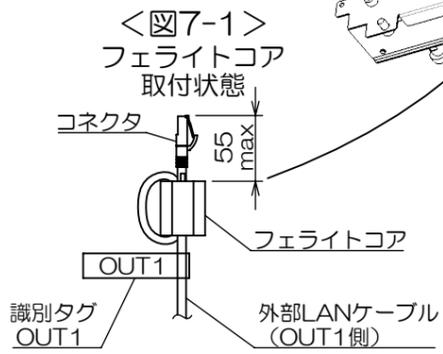
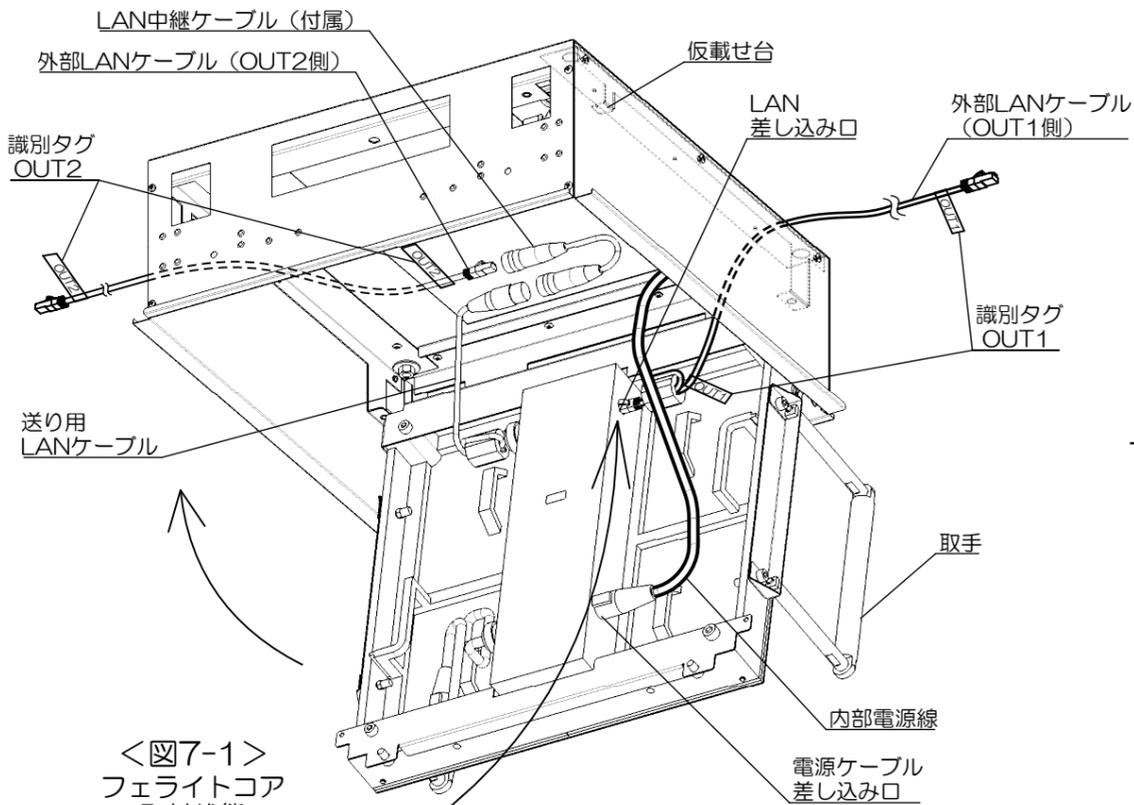


<図6-2> 引掛部拡大図 (引掛後)

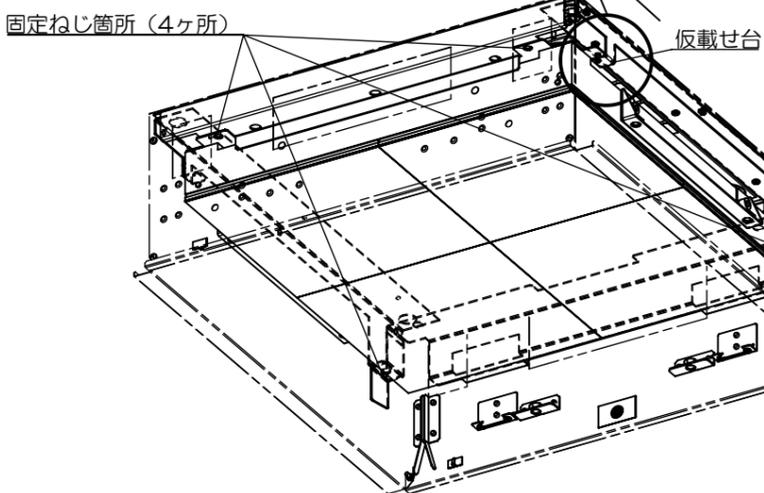
警告

- LEDユニットの取付け・取外しの際は必ず電源を切る。
- 施工は、施工説明書にしたがい確実にを行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

<図7>
LEDユニット取付図



<図8>



6. LEDユニットの取付 (2)

- ・同梱のフェライトコアを外部LANケーブル (OUT1側、カテゴリ5e以上、1本、両端に「OUT1」の識別タグをつける) (別途) にコネクタになるべく近い所で一回巻き付けて取り付ける。
(<図7-1>フェライトコア取付状態参照)
- ・LANケーブルをLEDユニットのLAN差し込み口に確実に接続する。
(<図7>LEDユニット取付図参照)
- ・本体の内部電源線 (1本) をLEDユニットの電源線差し込み口に確実に接続する。(差込後、右回りに回して固定してください。)
(<図7>参照)
- ・LEDユニットの送り用LANケーブルの結束バンドを切り、LAN中継ケーブル (付属) を接続する。LAN中継ケーブルを外部LANケーブル (OUT2側、カテゴリ5e以上、1本、両端に「OUT2」の識別タグをつける (ただし、複数台NTN280、NTN281を取り付ける場合には<図7-2>参照のこと) (別途) に接続する。(<図7>参照)
- ・コネクタを軽く引っ張って正しく接続されていることを確認する。
- ・LEDユニットを水平にして仮載せ台上に載せる。(<図7>、<図8>参照)
- ・M8六角穴付ボルト (4ヶ所) で本体に固定する。
(推奨トルク: 12N・m)

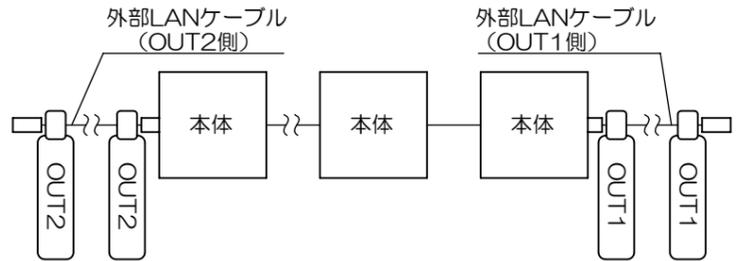
準備する特殊工具: 六角レンチ
(二面幅6mm、L170mm以上)

- ・映像再生装置 (別途) 裏面の差込口「OUT1」「OUT2」に、外部LANケーブルの識別タグ表示に合わせ差し込む。
(<図7-3>外部LANケーブル～映像再生装置接続図参照)

7. 点灯確認

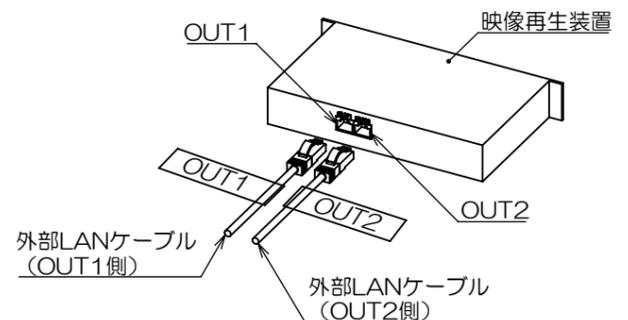
- ・映像再生装置、器具の電源を入れる。
- ・別紙天窓Visionシステム設定マニュアルに従って、確認用コンテンツを表示して、向き、配置を確認する。
- ・点灯確認後、LEDユニットの取手を取り外す。

<図7-2>



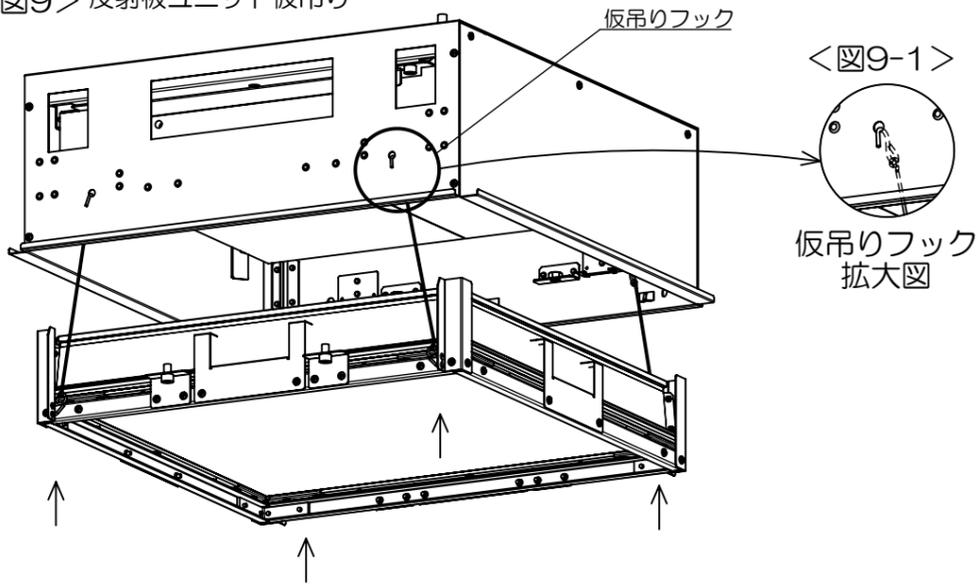
<図7-3>

外部LANケーブル～映像再生装置接続図

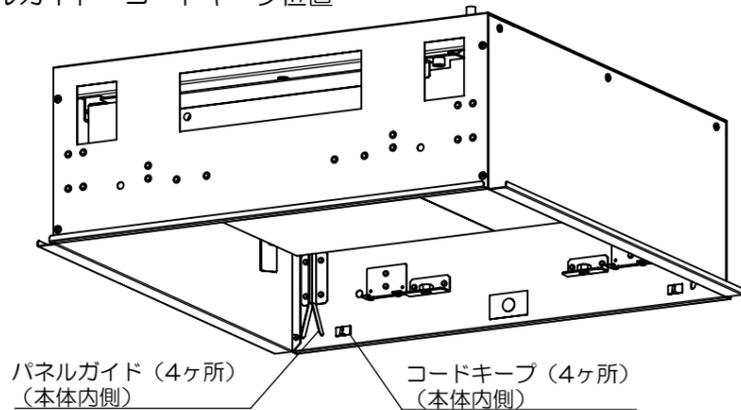


各部のなまえと取付方法

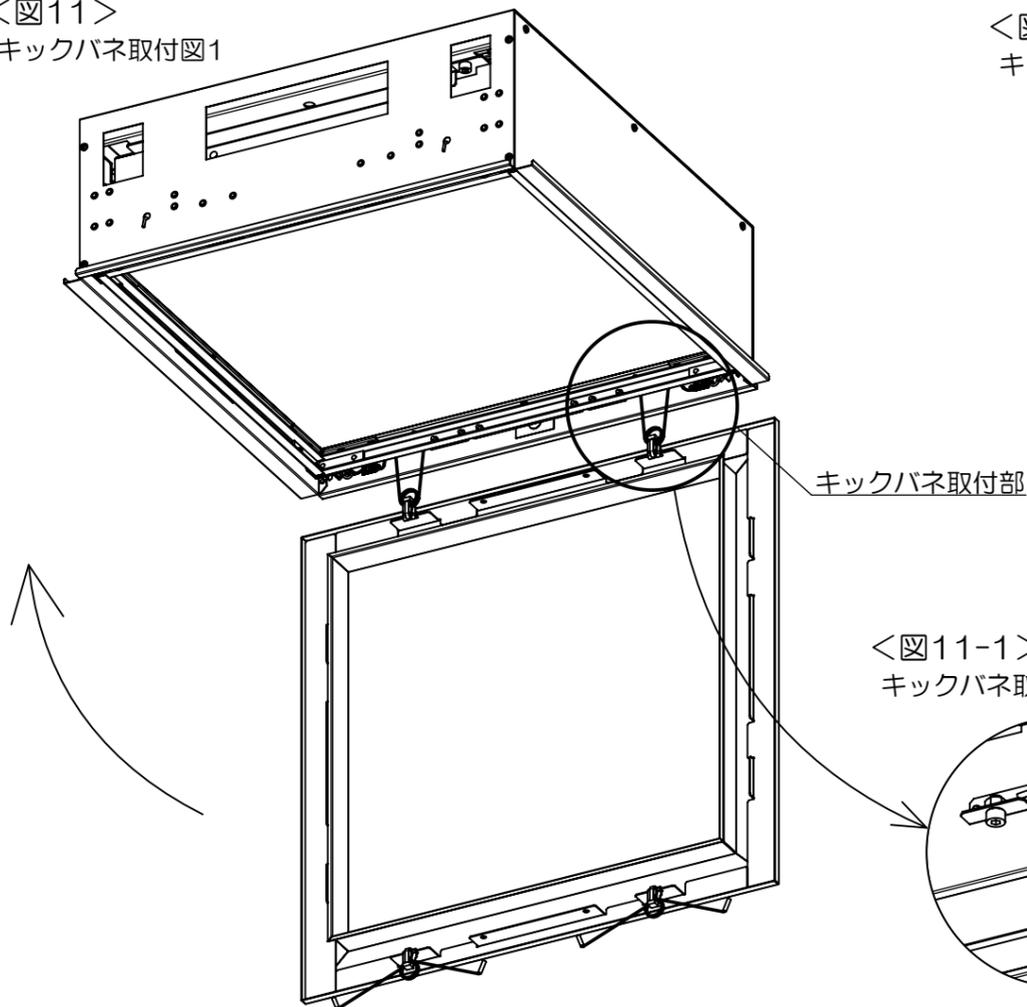
<図9> 反射板ユニット仮吊り



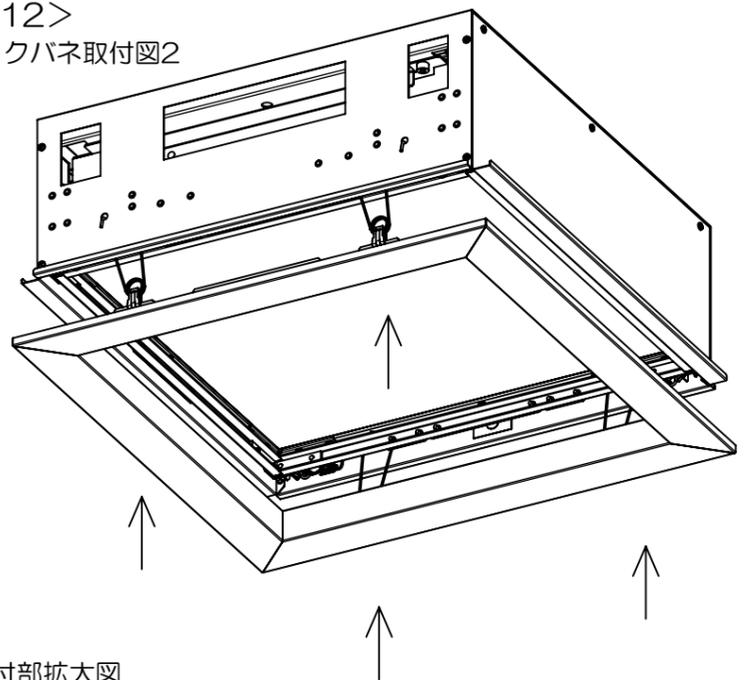
<図10>
パネルガイド・コードキープ位置



<図11>
キックバネ取付図1



<図12>
キックバネ取付図2



警告

- LEDユニットの取付け・取外しの際は必ず電源を切る。
- 施工は、施工説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。

8. 反射板ユニットの取付

- ・仮吊りフックを本体側の仮吊り用穴に引っ掛ける。(4ヶ所) (<図9>参照)
- ・反射板ユニットを水平にして、位置決め板を本体のパネルガイド(4ヶ所)に挿入し、傾かないように垂直に押し上げる。(<図10>パネルガイド位置参照)
- 傾いた状態で無理に挿入すると、反射板が本体の部品にあたり、変形するおそれがあります。反射板ユニットには傷つきやすいまたは変形しやすい箇所があります。手持ち可能箇所のみを持って取り扱う。(<図3>反射板ユニット手持ち可能箇所参照)
- ・M8六角穴付ボルト(6ヶ所)で本体に固定する。(推奨トルク: 12N・m)
- ・仮吊り紐が垂れないようにコードキープで保持する。(4ヶ所) (<図10>コードキープ位置参照)

9. 枠の取付

- ・キックバネを本体のパネ受に引掛ける。(4ヶ所) (<図11、図12>キックバネ取付図1、2参照)
 - ・枠を押し上げる。
 - ・枠が正しい位置にあることを確認する。
- ※取付が不完全な場合、枠落下の原因となります。

■ 定格

定格電圧	100V
定格電流	1.42A
消費電力	135W